

cDNA Library, Mouse Skeletal Muscle

Code No. 9534

容量: 5 μ g

濃度: 200 μ g/ml

※ 適切に保存し、受取り後2年を目途にご使用ください。

●製品説明

本製品は Gubler and Hoffman の方法 [*Gene* (1983) **25**: 263-269] に基づいて作製したプラスミド型 cDNA ライブラリーである。制限酵素 *Not*I 認識部位を有する oligo (dT)₁₈ リンカープライマーと *Bam*HI (*Bgl*II) -*Sma*I アダプターを用いて、unidirectional cloning している。なお、クローニングの前にサイズ分画を行い、約 300 bp 以下の断片をある程度除去している。ライブラリーはプレート培養法により1度だけ増幅した後、プラスミド抽出キットを使用してプラスミド DNA を調製しており、プライマリーライブラリーをできるだけ保っている。

●用途 新規あるいは既知の cDNA の PCR スクリーニング

●形状 10 mM Tris-HCl (pH8.0)
1 mM EDTA

●保存 - 20°C

●クローニングベクター

cDNA ライブラリーに使用しているベクター pAP3neo は、SV40 プロモーターを有し哺乳動物細胞で発現可能である。また、ssDNA 生成に必要な f1 ori、RNA 合成のための T7 および T3 RNA ポリメラーゼプロモーターを含んでいる。

GenBank Accession No. AB003468

●クローニングサイト

Insert cDNA は、pAP3neo の *Bgl*II* / *Not*I サイトにクローニングしている。
* : Adaptor, *Bam*HI (*Bgl*II) -*Sma*I を用いてクローニングしているため、クローニング後の *Bgl*II サイトは潰れている。

●mRNA Source / 品質管理データ

性能試験結果については、各ロットの Certificate of Analysis (CoA) をご覧ください。CoA はタカラバイオウェブサイトからダウンロードできます。

●純度

本製品の調製は、プラスミド抽出キットを使用しており、宿主の大腸菌ゲノム DNA が混入している場合がある。

●備考

ライブラリー作製時に *E. coli* tRNA を使用しているが、サイズ分画の過程である程度除去している。また、共沈剤に Gen とるくん™エタ沈キャリア (製品コード 9094) を使用している。

●参考文献

- 1) Gubler U and Hoffman B. J. *Gene*. (1983) **25**: 263-269.
- 2) 野島博 実験医学別冊バイオマニュアルシリーズ 2「遺伝子ライブラリーの作製法」(1994) p79-94
- 3) Kobori M, Ikeda Y, Nara H, Kato M, Kumegawa M, Nojima H, and Kawashima H. *Genes To Cells*. (1998) **3**: 459-475.

Gen とるくんはタカラバイオ株式会社の商標です。

●注意

本製品は研究用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。
タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。
ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。
本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。

v201902Da

タカラバイオ株式会社

ウェブサイト <http://www.takara-bio.co.jp>

製品についての技術的なお問い合わせ先

テクニカルサポートライン

Tel 077-565-6999
Fax 077-565-6995